

令和4年4月1日  
中国総合通信局

## 令和4年度 中国総合通信局の目標及び重点施策

### I 目 標：ICT で挑む中国地域の活性化

－ Change our Channel to Challenge! －

ICT/デジタル技術は、時間や場所の制約を取り払い、これまで不便とされてきた地方の弱点を克服するだけでなく、様々な地域課題の解決や地域の活性化、さらには社会の変革に対して極めて有用です。

政府としては、「デジタル田園都市国家構想」を打ち出し、その恩恵の大きい地方に対してデジタルの実装を期待し、推進しているところ、当局としては、中国地域においてその一翼を担うとともに、ICT の無限の可能性を引き出し、地域の活性化に挑むため、以下の観点から重点施策に取り組みます。

### II 重点施策

#### 1 ICT 利活用の推進

ICT/デジタル技術は使いこなすことができれば便利ですが、初めの一步を踏み出すことには様々なハードルがあります。

そのため、まずはチャレンジ意欲ある方を応援して成功事例を積み上げるとともに、それらを起爆剤にして地域的・分野的な連鎖の波を引き起こしていきます。

##### (1) 地域課題の解決

地域課題の解決手段として特に期待されているローカル5Gの導入促進や地域コンテンツの発信力強化を図るとともに、課題解決に着目するベンチャー・スピリッツを応援します。

また、関係機関と連携して、地域課題に直面する自治体とICT/デジタル技術を有する事業者等とのマッチングを推進し、具体的な課題解決事例の実現に向け、積極的に働きかけます。

#### 【主な施策】

- ・ローカル5Gの導入拡大・支援
- ・地域コンテンツの製作・流通推進
- ・地域発ICTスタートアップ支援
- ・ICTを活用した地域課題解決提案会の開催

(2) デジタル変革（DX）の推進

デジタル化の進展に合わせて、従来からの業務・組織のあり方に変革を促進し、地域全体にデジタル化の恩恵や効用をもたらします。

【主な施策】

- ・自治体・企業・地域社会のDX支援
- ・テレワークの導入促進・定着
- ・オープンデータの普及促進

(3) 関係機関との連携強化・拡大

ICT利活用を地域全体に推進するに当たっては、産学官金の各種関係機関との連携・協力体制が不可欠です。

そのため、これまでに築き上げてきた各種ネットワークを最大限に活用・拡大し、施策を効率的・効果的に展開します。

【主な関係機関ネットワーク】

- ・中国地域における Society5.0 の実現に向けた連携・協力会
- ・中国情報通信懇談会
- ・中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル

## 2 ICT 基盤整備の推進

ICTの利便性を最大限に享受するためには、その基盤が十分に整備されているとともに、いついかなる状況においても利活用できることが重要です。

そのため、地域におけるICT基盤について、その格差是正や強靱化を図るとともに、将来に向けた研究開発等を推進します。

(1) あたりまえの日常を支えるICT基盤の整備

日常生活や企業活動において、ICTが円滑・安定的に利活用できるようにするため、地域において高速・大容量の通信基盤の整備を推進します。

【主な施策】

- ・光ファイバ網の整備推進
- ・5G基地局の整備推進

(2) 非常時・災害時に向けた対応

ICTは、災害等の発生時においても円滑・安定的に利活用できるだけでなく、むしろそのような時にこそ、その真価を発揮することが求められます。

そのため、災害においても耐えうるような ICT 基盤の強靱化を推進するとともに、災害時にはその影響を最小限に抑制する方策を関係機関と連携して展開します。

**【主な施策】**

- ・通信・放送ネットワークの強靱化
- ・災害時における通信・放送手段の提供確保
- ・防災関係機関との連携強化

(3) 将来・未来に向けた研究開発・人材育成

IoT、AI、Beyond 5G 等、今後も ICT/デジタル技術の進化は止まるところを知らず、それに伴い、その利活用の範囲も無限に拡大することが想定されます。

そのため、それらに貢献する研究開発や担い手となる人材の育成を推進します。

**【主な施策】**

- ・Beyond5G 等の先端的な研究開発の推進
- ・若者等を対象としたハッカソン事業の推進

**3 ICT リテラシーの向上と ICT 利用環境の整備**

ICT は有用なツールではありますが、誰もが初めから使いこなせるわけではなく、悪用されるリスクも潜んでいます。また便利なツールであるため、使い方によってはトラブルも多発しています。

そのため、利用者の利活用段階に応じたきめ細やかな対策とともに、地域を挙げた社会的な枠組みでの対応の両面から施策を展開します。

(1) ICT リテラシーの向上

高齢者等で ICT を利用することに不安を抱える方、青少年のように好奇心に任せて危険な使い方をする方、企業や団体において ICT を利活用し、その使い方によっては組織全体、さらには社会の広範囲に影響を及ぼしかねない方等、それぞれの状況に応じたセミナーや講習会等を積極的に開催します。

**【主な施策】**

- ・高齢者向けスマホ講習の推進
- ・青少年向け ICT リテラシーの向上
- ・サイバーセキュリティ人材の育成

(2) 安心・安全な ICT 利用環境の整備

個々の利用者では対応できないことについては、行政の立場から、又は地域社会全体で対応し、安心・安全な ICT 利用環境を整備します。

【主な施策】

- ・電波監視と不法無線局の取締り強化
- ・消費者保護の取組強化
- ・医療機関等の電波利用環境整備の推進
- ・中国地域サイバーセキュリティ連絡会との連携強化

(参考)

副題：－ **Change our Channel to Challenge!** － について

中国地域の活性化に向け、果敢に挑戦する方向へ舵を切ることを、通信・放送を所管する当局らしく、チャンネルの切替えになぞらえて表現しています。